



Academic eXchange for  
Information Environment and Strategy

教育技術開発部会 企画セッションFD1:

# 産学協働による 教育関連IT技術の活用事例報告2017

# 教育技術開発部会(EdTech部会)

---

教育技術開発部会では、新しいテクノロジーおよび標準を、教育の場で利用するために、企業と大学が一丸となってそれらを用いた教育手法・技術を共同で開発し、大学におけるそれらの実践的な利活用のあり方を提案する。提案に際しては企業がテクノロジーを紹介し、大学が教育の場での利用方法を説明するなど、単なる製品の紹介にとどまらない産学共同提案を義務付ける。

# EdTech メンバー入会

**大学ICT推進協議会 教育技術開発部会**  
AXIES EdTech

ABOUT CASE INFO

---

**目的**

大学ICT推進協議会 教育技術開発部会 (AXIES EdTech) では、新しいテクノロジーおよび標準規格を教育の場で利用するために、企業と大学が丸と なってそれらを用いた教育手法・技術を共同で開発し、大学におけるそれらの実 践的な利活用のあり方を提案します。

**リンク**

[大学ICT推進協議会](#)  
[大学ICT推進協議会部会一覧](#)

**カテゴリー**

[イベント](#)  
[お知らせ](#)

**歩み**

2015年5月21日	大学ICT推進協議会理事会にて設置承認
2015年9月8日	キックオフシンポジウム
2015年12月	大学ICT推進協議会年次大会企画セッション
2016年3月	研究会開催(第1回)
2016年8月	研究会開催(第2回)
2016年10月	研究会開催(第3回)

**入会申し込み**

**メーリングリスト**

大学ICT推進協議会 教育技術開発部会の活動に賛同される皆様(含む：非会員)にはメーリングリストに 情報提供を行っています。メンバー登録を希望される場合には、下記宛先に空メールをお送りください。

[sig-edtech-subscribe@axies.jp](mailto:sig-edtech-subscribe@axies.jp)

なお退会される場合には、下記宛先に空メールをお送りください。

[sig-edtech-unsubscribe@axies.jp](mailto:sig-edtech-unsubscribe@axies.jp)

<http://edtech.axies.jp/>



# LTIを介した産学協同による学習環境の構築と課題

---

## ■ 背景

IMS技術標準のLTI(Learning Tools Interoperability)により、LMSと各種学習支援ツールやサービスが容易に統合できるようになった。

しかしながら、実際にはツール/サービス/電子書籍などのライセンス契約、LMSからLTIを介したユーザIDやメールアドレスなどの個人情報提供、あるいはそれらのツールを組み入れた授業開発など、これまでにはなかった様々な課題が生じる。

## ■ セッションの進め方

本セッションでは各大学にてLTIによるLMSの機能拡張を実践した事例をもとに、直面した課題について報告するとともに、会場を交えてパネルディスカッションを行う。

- 早稲田大学 Course N@vi と 剽窃検知システム
- 京都大学 Sakaiと ビデオ配信システム
- 法政大学 Sakai と 社会人向e-Learning講座

# 2017年度年次大会企画セッション プログラム

---

9:10 - **早稲田大学 Course N@vi と 剽窃検知システム**

深澤 良彰 (早稲田大学)

9:30 - **京都大学 Sakaiと ビデオ配信システム**

梶田 将司 (京都大学)

安藤 典久 (Kaltura Inc)

9:50 - **法政大学 Sakai と 社会人向 e-Learning講座**

常盤 祐司 (法政大学)

李 在範 (株式会社ネットラーニングホールディングス)

10:10 - **パネルディスカッション**

モデレータ 喜多 一 (京都大学)

10:30 終了